



学校だより

令和元年10月1日
佐渡市立七浦小学校
学校だより No. 7

たった一言の勇気

校長 山口 明美

毎日の学習、金北山への全校登山、宿泊体験、稲刈り体験等、忙しくも充実した9月でした。10月、11月とさらに行事は目白押しです。それぞれの活動を通し、保護者や地域の皆様には子どもたちが成長した姿をご覧いただけるよう、取り組んでいきます。

さて、爽やかな秋晴れの下、9月25日には、佐渡市親善陸上競技大会が行われ、5、6年生が日頃の練習成果をみごとに発揮しました。この陸上競技大会を迎えると忘れられないAさんのエピソードを思い出します。

Aさんには吃音（どもり）があり、話し始めの言葉がスムーズに言えず、人と話をするのが苦手でした。6年生の陸上大会で、Aさんは走り高跳びの選手でした。跳ぶ前に審判から名前を呼ばれた時、「はい」とスムーズに答えられるかとても心配し不安に思いながら競技に臨みました。競技中、Aさんの前に並んでいたBさんに「ぼく、吃音があつてすぐに「はい」って言えないんだよね。」と、そつとつぶやきました。すると偶然にも、Bさんから「ぼくもだよ。」という言葉が返ってきたのです。AさんとBさんは、この日初めて出会いましたが、この日をきっかけにとっても仲良しになりました。二人とも通級指導教室で吃音の指導を受けていたこともあり、長期の休みの時は一緒に指導を受け、会話を楽しみました。中学校までは別の学校でしたが、同じ高校に入り、高校卒業後もその友情は続いています。

Aさんが勇気を出して発した一言により、かけがえのない友達に巡り会うことができました。そして、自信をもって誰とでも話すことができるようになったことで、Aさんの学校生活は大きく変わり、様々なことに挑戦し成果を挙げることができました。

9月の全校朝会で、『教室はまちがうところだ』という絵本を読みました。その中に「まちがいだらけのぼくらの教室 おそれちゃいけない わらっちゃいけない 安心してまちがえや」というくだりがあります。ほんの少しの勇気が大きな自信につながる一歩です。

